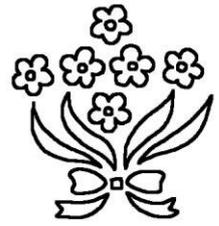


相談室だより



平成29年度 12・1月号

南葛西第二小学校校長 落合淳一

発行：スクールカウンセラー 竹埜未紗

今年もいよいよ残りわずかとなりました。少し早いですが、今年1年を振り返ってみます。今年の相談室は、場所が移動しましたが、児童のみなさんは、新しい相談室の場所もしっかりと覚え、引き続き、相談にきてくれました。保護者と一緒に相談にくる児童、長く相談を続けている児童もいます。そして、保護者からの相談が増えました。そのため、予約希望日にお応えすることができず、お待たせすることもありました。また今年も、児童のみなさんのクラスの様子を見に行く時間が減りました（相談室で面接をしていることが多いからです）。しかし廊下で、児童のみなさんから声をかけてもらうことが多くありました。スクールカウンセラーにとって、過去に相談室に相談にきていた児童のみなさんが、廊下で気さくに声をかけてくれることは、うれしいことです。スクールカウンセラーから、相談にきていた児童のみなさんに声をかけることはしていません。なぜなら、秘密で相談したいという児童もいるからです。児童のみなさんが、安心して相談できるよう、こころがけていきたいと思っています。

相談室が開いている日 毎週金曜日



1日、8日、15日



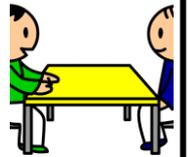
12日、19日、26日

相談室

場所：小学校の2階

開室日時：金曜日 午前8:45～午後4:00

スクールカウンセラー 竹埜未紗



児童のみなさんへ

「ほかのお友達がいないときにスクールカウンセラーとだけお話ししたい」というときには、20分休み（10時20分～10時40分）と昼休み（1時～1時15分）に相談室に直接来てください。その日にすぐにお話しできるときもあります。または相談の日を約束することもできます。

保護者の皆様へ

スクールカウンセラーは、児童の相談はもちろん、授業中のクラス巡回、そして保護者に対する助言・援助も行います。いざ相談するとすると、とても勇気がいるものだと思いますが、相談内容については秘密を守りますので、安心してお話しください。子供が不安を抱えている、学校の中でトラブルがある、不登校やいじめ、集団不適応、発達の遅れ、学習の遅れ。それほど重大な問題でなくても、引っ込み思案であるとか、乱暴であるといった子供の性格や行動についての気がかりな点、きょうだい親子など家族関係の悩み、子育ての不安がある…など、どのようなことでもお気軽にご相談ください。話されたことをもとに、授業中の様子を見てお伝えしたり、本人と面接して気付いたことをお伝えすることもできます。また、ご希望がある場合には、小学生の子供の心や問題行動に関する相談の公的機関の情報を提供することができます。

ご相談の際には、相談室を直接訪ねることも可能ですが、事前にご予約することをおすすめします。学校から「スクールカウンセラーによる面談のご案内」を配布しております。お手紙に記載されている手続きの通り、予約してください。また学校ホームページの【教育活動＞教育相談室】にも「スクールカウンセラーによる面談のご案内」を掲載しておりますので、こちらを印刷の上ご予約ください。

このままで大丈夫！？

わが子は時間にルーズ…コツコツできない…

👉 **こんなふうにかえましょう！**

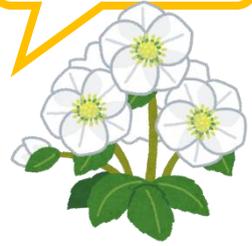
育て方のコツ～時々こう考えてみる～

① 「だけど」をつけて、ポジティブな面に目を向ける！

大人は「落ち着いて」「正確に」「コツコツと」といった期待をもって、子どもたちをみる傾向にあります。確かにこれらは大切なことです。しかし、この期待をわきに置いて、子どもたちのよい面やできていることに目を向けると、印象が変わってきます。

ひとつのことに集中するのは苦手。『だけど』気分転換は上手だし、たくさんの素敵なアイデアを思いつくわ！

コツコツ計画的にとりくむことは苦手。『だけど』期日ギリギリになれば集中できて、最後には帳尻が合う。結果も特に問題はないわ。



② 課題は1つだけ。あとは大目にみる！

- ・朝食をしっかり食べる
- ・起きたらなるべく早く、洗顔や着替えを済ませる
- ・持ち物を自分で準備する
- ・忘れ物をしない
- ・散らかしたものを片付ける
- ・元気に「おはよう」と言う
- ・着替え中テレビを見ない

できなくても OK！

遅れずに学校へ行ったわ

ここだけ
できればOK



親としては、いくつかの課題が気になるものだと思います。最も重要なことをひとつだけ、課題として設定してみましょう。「遅れずに学校へ行くこと」が達成できるなら、他の細かいことは気にしない努力をしてみましょう。子どもたちは、目標に集中でき、親も伝えることがひとつになり、楽になります

③ 子どものタイミングに合わせて動く！

食事や宿題などの時間が近くなったことを伝えても、子どもたちは遊びやゲーム、テレビなどを、なかなか切り替えてくれません。声をかけても、無視しているように感じることもあるかもしれません。しかし、多くの場合、子どもたちは話を聞いていて、あとで切り替えようと思っています。それが遅れるだけで、無視しているわけではありません。

重要! 親の都合で動いていませんか？

親が自分が動きやすいように予定を組み、自分の言いやすいタイミングで、子どもに声をかけていると、子どもたちは余裕をもって切り替えることができません。

番組の終わり、CMなど、注意を切り替えやすいタイミングで！

そろそろ時間だよ。キリのいいところまで見たし、準備を始めよう。



子どもの力を伸ばす子育て。たま～に、大人の期待を控えめに、今の子どもの力に合わせてみることもおすすめです。